



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	27,055	13.4	102		79	77.4	20	
2020年3月期第3四半期	31,244	0.1	300	19.5	353	21.3	230	34.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 290百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 198百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.03	
2020年3月期第3四半期	11.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	22,892	9,688	42.3	494.92
2020年3月期	21,280	9,456	44.4	483.09

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,688百万円 2020年3月期 9,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		3.00	3.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

今期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	20,102,000 株	2020年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	527,004 株	2020年3月期	526,954 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	19,575,040 株	2020年3月期3Q	19,574,996 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 21「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が制限され厳しい環境で推移しました。各種政策の効果により徐々に経済活動も再開し、一部に景気の持ち直しが見られましたが、年末にかけての国内における感染再拡大により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化②アスレチックビジネスの深化③ライフスタイルビジネスの進化④主力ブランドの再強化⑤EC市場での多面的対応⑥商品・ブランドの絞り込みと新規販路の開拓に取組み、「構造改革」として①利益率の向上②経営の生産性向上③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人材と組織の活性化②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,055百万円(前年同期比13.4%減)、営業損失は102百万円(前年同期は営業利益300百万円)、経常利益は79百万円(前年同期比77.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益230百万円)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレックス」マーケットは、一部のスポーツイベントや部活動が再開されつつあり、特に第3四半期会計期間においては取扱ブランドの増加等もあって堅調に推移しましたが、第1四半期会計期間における営業活動自粛等の影響が大きく、総じて苦戦しました。その中でも、コロナ禍対応商品については引き続き堅調に推移しております。また、期中に開始しましたYouTube「ZETT BASEBALLチャンネル」の拡充や、新たに有力選手とアドバイザースタッフ契約の締結へ取組む等、ゼットファン拡大に努めました。「ライフスタイル」マーケットも同様に総じて苦戦しましたが、巣ごもり消費関連商品は引き続き堅調に推移しました。また、指定管理事業は、前期に引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は25,874百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益力の高い企業体質を構築し、企業価値向上に努めました。野球・ソフトボール用品及び、「コンバース」のバスケットボール用品は、一部のスポーツイベントや部活動は再開されつつあるものの、第1四半期会計期間における外出自粛等の影響が大きく総じて苦戦しました。その中で、SNS等を活用し、グラブや木製バットの製作工程等を配信し、ユーザーへダイレクトにメッセージを届けることにより、ゼットブランドの向上に努めました。

この結果、売上高は149百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者の増加傾向にあり、引き続き堅調に推移しました。しかしながら、店頭販売は外出自粛の影響もあり来店者が増加せず、また、緊急事態宣言に伴い約1ヶ月間休業したことにより苦戦しました。

この結果、売上高は357百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、緊急事態宣言により約2ヶ月間休業し、緊急事態宣言解除後に休業期間中の休会者の復帰に努めましたが、感染症の収束が見通せない状況が続いており苦戦しました。

物流部門は、経済活動が再開しつつあるものの、外部受託業務の取扱い量が減少したことにより、引き続き低調に推移しました。

この結果、売上高は674百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が17,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,164百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,606百万円、商品及び製品が561百万円減少したものの、現金及び預金が3,036百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が467百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は22,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,612百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は10,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が719百万円減少したものの、電子記録債務が1,200百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ786百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が589百万円、繰延税金負債が187百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,380百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産合計は9,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が78百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が320百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.3%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算出が困難なため未定としております。今後、合理的な連結業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,476	6,513
受取手形及び売掛金	8,008	6,401
電子記録債権	815	1,230
商品及び製品	3,858	3,296
仕掛品	53	65
原材料及び貯蔵品	119	153
その他	361	198
貸倒引当金	△84	△85
流動資産合計	16,609	17,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,890	2,815
減価償却累計額	△2,183	△2,076
建物及び構築物 (純額)	707	739
土地	1,228	1,228
その他	921	861
減価償却累計額	△741	△687
その他 (純額)	180	174
有形固定資産合計	2,115	2,141
無形固定資産		
その他	118	107
無形固定資産合計	118	107
投資その他の資産		
投資有価証券	1,802	2,270
長期貸付金	13	14
敷金	220	206
その他	473	451
貸倒引当金	△73	△73
投資その他の資産合計	2,436	2,870
固定資産合計	4,671	5,119
資産合計	21,280	22,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,575	4,855
電子記録債務	3,305	4,506
短期借入金	81	216
未払法人税等	16	7
未払消費税等	68	346
賞与引当金	214	95
返品調整引当金	50	46
その他	925	757
流動負債合計	10,237	10,831
固定負債		
長期借入金	—	589
繰延税金負債	294	482
退職給付に係る負債	335	349
長期未払金	11	11
その他	945	940
固定負債合計	1,587	2,373
負債合計	11,824	13,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,587	4,508
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,486	8,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966	1,287
繰延ヘッジ損益	9	△3
為替換算調整勘定	8	8
退職給付に係る調整累計額	△14	△11
その他の包括利益累計額合計	969	1,280
純資産合計	9,456	9,688
負債純資産合計	21,280	22,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,244	27,055
売上原価	25,203	22,029
売上総利益	6,040	5,025
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	420	316
運賃及び荷造費	610	556
賃借料	213	225
役員報酬及び給料手当	2,260	2,160
貸倒引当金繰入額	12	1
賞与引当金繰入額	209	88
減価償却費	96	101
その他	1,916	1,677
販売費及び一般管理費合計	5,740	5,128
営業利益又は営業損失(△)	300	△102
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	33	15
受取賃貸料	16	8
業務受託料	7	7
助成金収入	—	121
受取補償金	—	45
その他	22	14
営業外収益合計	82	214
営業外費用		
支払利息	0	2
売上割引	28	23
その他	1	5
営業外費用合計	30	31
経常利益	353	79
特別損失		
減損損失	15	—
特別損失合計	15	—
税金等調整前四半期純利益	337	79
法人税、住民税及び事業税	48	30
法人税等調整額	58	69
法人税等合計	107	99
四半期純利益又は四半期純損失(△)	230	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	230	△20

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	230	△20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△424	320
繰延ヘッジ損益	△3	△12
為替換算調整勘定	△3	△0
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	△429	310
四半期包括利益	△198	290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△198	290

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。